

市原市4河川で緊急浚渫



12月定例県議会で登壇し、一般質問を行う伊豆倉雄太県議

伊豆倉雄太県議は12月定例県議会で登壇し、一般質問に臨みました。市原市選出の伊豆倉県議は地元の防災への取り組みを取り上げ、市内の河川の浚渫事業、県管理道路の復旧状況などについて県執行部に聞きました。また、産業用地の整備について、ノウハウを持たない市町村への県の支援を要望しました。伊豆倉県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

12月定例県議会一般質問

伊豆倉議員 昨年の台風29号での大規模な河川氾濫を受け、昨今の相次ぐ河川氾濫などを踏まえ、地方公共団体が緊急かつ集中的に浚渫事業に取り組み、危険箇所を解消できるよう、緊急浚渫推進事業債が創設された。昨年の台風被害で、私のところにも、河川周辺に住む方々から、多くの心配の声をいただく。そこでうかがうが、市原市内における「緊急浚渫推進事業」の実施状況はどうか。県土整備部長 市原市内の養老川、村田川、椎津川

土砂撤去や竹木伐採 高滝ダムでも土砂撤去

及び前川の4河川では、著しく土砂が堆積している力所があることから、本来の流下能力を確保するため、

現在、緊急浚渫推進事業として、堆積土砂撤去や竹木伐採を実施しているところ。また、高滝ダムにおいても、治水機能を確保するため、ダム貯水池内の堆砂の撤去を実施しており、当該事業を活用してその撤去量を拡大しています。引き続き、堆積土砂撤去を着実に進め、治水機能の維持に努めてまいります。

堆砂進む高滝ダム 新しい貯砂ダム設置検討

伊豆倉議員 高滝湖の境橋上流側に貯砂ダムを造るべきだと思っております。県土整備部長 高滝ダムでは、ダム上流部において、土砂を捕捉する貯砂ダム2基を設置することにより、貯水池内へ流入する土砂の抑制を図っております。また、貯水池内においては、導流堤を設けることにより、流入土砂を掘削しやすいところに集め、水位を下げた上で地上から掘削すること

で、効率的な堆砂対策に取り組んでいるところです。しかしながら、当初の想定以上に堆砂が進んでいることから、更なる貯砂ダムの設置や掘削方法の工夫など、より効果的な堆砂対策について検討してまいります。

被災した県管理道路 17カ所で復旧工事中

伊豆倉議員 県管理道路における災害復旧事業について、復旧が完了していないのは何か所あるのか。また、今後の復旧見込みはどうか。県土整備部長 昨年の台風等の一連の災害により、

河川災害復旧工事 17カ所で入札不調

伊豆倉議員 昨年の台風被害に係る河川災害復旧工

いずくら雄太・PROFILE

■ 略 歴 ■

- 昭和58年生まれ
- 平成11年 市原市立加茂中学校卒業 (野球部在籍・キャプテン)
- 平成14年 私立志学館高等部卒業 (ラグビー部在籍・キャプテン)
- 平成18年 東洋大学法学部卒業
- 平成27年 県議会議員初当選

■ 所属団体 ■

- 市原市消防団
- 一般社団法人市原青年会議所

●お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください

いずくら雄太 県議事務所

〒290-0081 市原市五井中央西2-11-5
TEL.0436-37-1777
FAX.0436-37-1331

いずくら雄太の公式ウェブサイトもご覧ください…<http://izukurayuta.com>

市町村による産業用地整備

注目されるIC周辺地

県、部局横断で支援



県の答弁に対して要望をする伊豆倉県議

現在、産業用地の整備については、県・市町村・民間の役割分担で進めようとしているが、市町村では企業誘致のノウハウがない。そこでかがうが、これから産業用地の整備に取り組もうとしている市町村に対し、県はどのように支援していくのか。

要望 伊豆倉議員 市原市を含む多くの市町村が企業誘致を望んでいる。このため、県では、市町村の構想段階から相談を受け付け、企業の立地動向やその地域にあった整備手法など、課題解決に向けたアドバイスを行うとともに、事業可能性調査への補助制度などを設け、支援しているところだ。さらに、今年9月には、市町村が実施するインターチェンジ等を生かした産業の受け皿づくりに対し、部局横断的に支援する体制を整えたところであり、これらの支援策により産業用地の確保に取り組もうとする市町村を積極的に支援してまいります。

必要があります。このため、県では、市町村の構想段階から相談を受け付け、企業の立地動向やその地域にあった整備手法など、課題解決に向けたアドバイスを行うとともに、事業可能性調査への補助制度などを設け、支援しているところだ。さらに、今年9月には、市町村が実施するインターチェンジ等を生かした産業の受け皿づくりに対し、部局横断的に支援する体制を整えたところであり、これらの支援策により産業用地の確保に取り組もうとする市町村を積極的に支援してまいります。

空き家の活用促進を 民間事業者と連携提言

他県を見るとインターチェンジ周辺は多くの企業が立地しており、我が県も推し進めていかなければならないと思う。しかしながら、市町村はノウハウも少ないことから、県としての積極的な支援を要望する。

伊豆倉議員 空き家利用について、民間事業者と連携しながら進めて行くべきだと思いませんか。

知事 空き家対策は各市町村が地域の実情に合わせて行っており、空き家の利用についても、空き家バンクの運営や改修費用に対する補助などを実施しています。

民間事業者と連携した取り組みとしては、市町村が不動産関係団体の協力を得て、相談員を派遣し、空き家の活用方法の提案や、取引動向に関する情報提供、工事業者の紹介などを行っている事例もあります。

県では、市町村や関係団体と構成する「千葉県すまじく」協議会空家等対策

検討部会」において、空き家対策に係るマニュアル整備や意見交換などを行っており、民間事業者と連携した取り組み事例についても情報共有を図りながら、空き家の活用促進に取り組んでまいります。

要望 伊豆倉議員 郡部からすると、利用価値の低い空き家が多いものに対して、活用促進に取り組んでまいります。

高速バスターミナル

県内各地に増設を

伊豆倉議員 高速バスネットワークの強化に向け、高速バスターミナルを県内各地に設置するべきだと思いますか。

総合企画部長 道路ネットワークの充実・強化が図られる中、県内外へ多方面へのアクセスが容易となる高速バスターミナルの設置は、利用者の利便性向上や、交流人口の拡大による地域経済の活性化など、様々な効果が期待されます。

一方、高速バスターミナルの設置に当たっては、バス利用者のニーズ、高速道路インターチェンジ周辺の事業用地の選定・確保など、諸課題が想定されるため、まずは、地域の実情を把握する市町村において、その検討を進めることが重要であると考えております。

県といたしましては、高速バスターミナル設置の意向のある市町村に対しまして、ターミナル設置に係る

し、相続はした方がいいが利用価値も見いだせず、取り壊すと固定資産税が高くなるのでどうしたらいいかと言う相談をよく受ける。交通の利便性の高くない地域であれば、リフォームしても貸し手が見つからないかという思いを持つ方も多くいる。そうした地域の現状を今一度把握してほしい。

取り組み事例の紹介や、広域的な観点からの助言等により協力をしてまいります。

市原市内で工事中 バリアフリー歩道

伊豆倉議員 市原市内におけるバリアフリーに対応した歩道の整備状況はどうか。

県土整備部長 歩道の整備にあたっては、県では、幅員が広く、段差の少ないバリアフリーに対応した歩道の整備に取り組んでおります。

市原市内においては、国道297号牛久地先外3カ所で歩道整備を実施しており、また、既存の歩道についても、交差点や民家の出入り口などの切下げ部の勾配を緩くする対策に取り組んでおります。

引き続き、誰もが利用しやすい歩行空間の確保に努めてまいります。

平成30年の救急車出動

8.1%が転院搬送

速やかなルール作り必要

伊豆倉議員 県内の消防機関における転院搬送の状況はどうか。また、救急業務として転院搬送を行う場合のルール作りを進める必要があると思うがどうか。

防災危機管理部長 県内消防機関における転院搬送件数は、平成30年で約2万

7千件で、全救急出動件数の8.1%を占めています。転院搬送については、救急出動に影響を及ぼさないよう、医療提供体制等を考慮した上で、地域において消防機関や医療機関の関係者が、転院搬送を行う場合のルールについて合意形成を図ることが重要であると

要望 伊豆倉議員 必要時に、必要な方へ救急車が運用できるように、早急なルール作りを要望する。